事業事前評価表

１．対象事業名
国名：インドネシア共和国 案件名：アチェ復興事業 貸付契約調印日：2007 年 3 月 29 日 承諾金額：11,593 百万円 借入人：インドネシア共和国（The Republic of Indonesia）
２．本行が支援することの必要性・妥当性
2004 年 12 月及び 2005 年 3 月のスマトラ沖大地震・津波災害により、インドネシアのナングロアチェ・ダルサラム州（アチェ州と略記）及び北スマトラ州（ニアス島を中心）は約 13 万人の死者、総額 45 億ドルにも及ぶ大規模な物的・人的被害を受けた。これに対し各国・ドナーからは多額の支援が表明されたものの、2006 年 4 月時点で、約 13 億ドルの不足が生じており、また既にコミットされている 47 億ドル分についても、セクター等に偏りがあり、特に運輸・水資源セクターにおいては、復興・開発ニーズに対して資金不足が生じている。 アチェ州は、分離独立派の独立アチェ運動（GAM）とインドネシア治安部隊の間の 30 年ほどにわたる武力衝突の結果、外部社会に閉ざされており、地震・津波発生以前でも開発・発展が遅れている状態にあった。2005 年 8 月 15 日のインドネシア政府－GAM 指導部による和平合意後は、当該地域の治安も劇的に回復している。インドネシア政府は、同地域で、地震・津波被害からの復旧・復興のみならず、紛争からの復興に取り組んでいるが、現在アチェ州への支援は津波被害地域（バンダアチェおよび海岸線沿い）に集中している。地震・津波被害のみならず、紛争からの地域全体の包括的な再建・発展を促し、またアチェにおける平和の定着を支援するためにも、早急に物流・経済インフラの復旧・復興を通じた地域経済活動の発展を支援する必要がある。 日本政府作成のインドネシア国別援助計画（2004 年 11 月）においては、「民主的で公正な社会造り」のため、地方の自立発展、地域開発等の観点から、公共財（水と衛生、道路、電力等）の整備及びそれら公共サービスの維持管理体制の改善、自然災害対策等の支援を行うとしている。また、「平和と安定」の観点より、アチェ等紛争地域において和平のための政治的合意を達成・維持しつつ、インフラ等の復旧・復興等を進めることを重要課題としている。本行の海外経済協力業務実施方針（2005 年 4 月）では、「地球規模問題・平和構築への支援」を重点分野としており、地震や津波による災害に対し、緊急支援(復旧)だけでなく、中長期的な復興･再開発や再発防止･予防といった各段階に応じた包括的かつ一貫性のある取組が課題となっているとし、貧困削減・持続的成長を進める前提として平和の構築も重視している。特にインドネシアに対しては、スマトラ沖大地震・津波による被災地において、公共インフラ等の復旧・復興対策に積極的に取り組むとともに、今度同地域において自然災害が発生した際の被害を軽減するためにも、災害に強いインフラ整備を支援するとしており、本事業はこれら方針と合致している。よって本行が本事業に対して支援する必要性・妥当性は高い。

３．事業の目的等

本事業は、スマトラ沖大地震・津波災害による被災地域であり、また、長年の紛争からの和平が現在進展しているアチェ州において、復興・開発資金が不足している運輸及び水資源セクターのインフラを災害・紛争前の水準以上に改善することにより、同地域の経済的復興を図り、もって同地域において災害・紛争の被害を受けた住民の生活環境改善、地域の経済成長、並びに和平の促進と定着に寄与するもの。

４．事業の内容

(1) 対象地域名

ナングロアチェ・ダルサラム州（以下、アチェ州）

(2) 事業概要

運輸・水資源セクターにおける復旧・復興サブプロジェクトを実施。

・ 土木工事（道路、橋梁、港湾、灌漑、排水、洪水防御等）
・ コンサルティング・サービス（設計、入札補助、施工監理等）

現在想定されるサブプロジェクト

・ 運輸：中部道路（国道）グンパン－パメウ間約 64.8km の新設。
・ 水資源：バンダアチェ市排水整備、ムラボ市排水整備。

サブプロジェクトについては、事業スコープ、費用、スケジュール、実施、運営・維持管理体制、内部収益率等からなる事業計画書を実施機関が作成し、本行の同意を得たものから順次、実施することとしている。

(3) 総事業費

15,458 百万円（うち円借款対象額：11,593 百万円）

(4) スケジュール

2007 年 4 月～2015 年 1 月を予定（94 ヶ月）

(5) 実施体制

① 借入人:インドネシア共和国（The Republic of Indonesia）
② 事業実施機関：2009 年 4 月まではアチェ復興庁（BRR）。5 月以降は、各サブプロジェクトを担当する中央省庁（公共事業省道路総局（中部道路）、公共事業省居住総局（バンダアチェ・ムラボ排水））が実施を行う。
③ 運営・維持管理体制： 現在想定しているサブプロジェクトについては、公共事業省道路総局（中部道路）、アチェ州政府水資源局及びバンダアチェ市居住局（バンダアチェ排水）、ムラボ市居住局（ムラボ排水）がそれぞれの運営・維持管理を行う。

(6) 環境及び社会面の配慮

① 環境に対する影響／用地取得・住民移転

(ａ) カテゴリ分類：FI

(ｂ) カテゴリ分類の根拠：本事業は、本行の融資承諾前にサブ・プロジェクトが特定できず、かつそのようなサブ・プロジェクトが環境への影響をもつことが想定されるため、「環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン」（2002 年 4 月制定）上、カテゴリ FI に該当する。

(ｃ)その他：BRR は個別プロジェクトの環境面・社会面の影響をコンサルタントの支援を得て、本行の環境ガイドラインに沿って確認する。

② 貧困削減促進：本事業は、貧困率が高いアチェ州を対象として、運輸・水資源セクターへの支援を通じ復興への基盤整備を図る。

③ 社会開発促進（ジェンダーの視点等）特になし。

(7) その他特記事項　特になし。

5．事業効果

(1) 定量的効果（運用・効果指標）：想定されるサブプロジェクトに対する指標は、以下を予定しているが、サブプロジェクトの承認時にあわせて決定予定。

指標名	参考値 (震災前)	基準値 (震災後)	目標値 [事業完成２年後]
（中部道路） 年平均日交通量（台/日） 時間短縮（ﾊﾟﾒｳｰﾊﾞﾝﾀﾞｱﾁｪ）	 － －	 － 約 12 時間	(2017 年) 1,158 約 8 時間
（バンダアチェ市排水整備） 年最大洪水浸水面積（ha） 浸水時間（時間） 浸水戸数（戸）	(5 年確率) 118.8ha（2000 年） 4 時間～12 日（2002 年） 1,087（ｱﾁｪ全体, 2000 年）	 N.A N.A N.A	（2013 年、5 年確率） 今後設定 2 時間(10～15cm) 今後設定
（ムラボ市排水整備） 年最大洪水浸水面積（ha） 浸水時間（時間） 浸水戸数（戸）	 N.A N.A N.A	 264.6（2005 年） N.A N.A	(2013 年、5 年確率) 今後設定 2 時間(10～15cm) 今後設定

(2) 内部収益率

サブプロジェクト決定時に算出予定。

6．外部要因リスク

本事業の周辺で予定している他ドナー等による事業が遅延若しくは実施されず、本事業の効果に影響を及ぼす可能性がある。

7．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

過去の事業から、複数のコンポーネント毎に担当機関が設置される場合は、強い決定権限を有する機関を中心とした実施体制とすることが必要、また、臨時事業実施事務所が案件管理を実施し、別の機関に完成施設の運営・維持管理を引きつぐ場合、継続的なモニタリングなどが必要との教訓を得ている。本事業では、事業実施中に実施機関が変わること、事業実施者と、運営・維持管理者が変わることに鑑み、事業実施から運営・維持管理を通じた情報の共有を可能にするような実施体制及び情報共有体制を構築している。このために、関係機関から構成される Project Management Unit の設立や、移行後の実施機関（中央官庁）から移行前の実施機関（BRR）にプロジェクトマネージャーの派遣等を行うことにしている。

8．今後の評価計画

（１）今後の評価に用いる指標

・中部道路：　所要時間の短縮、年平均交通量、内部収益率

・バンダアチェ市、ムラボ市排水：　年最大洪水面積（km2）、浸水戸数（戸）

浸水時間（時間）、洪水被害の年間軽減回数（回）、内部収益率

（２）今後の評価のタイミング

事業完成後